

女性ならではの感性を大切に



安原工業団地協同組合女性部

部長 笠井 恵美子

新型コロナウイルスの感染が確認されてから、はや1年が経ちましたが、いまだに衰えることなく猛威をふるっています。第3波が減少傾向になってきていますが、まだ多くの感染者が確認され、医療崩壊が懸念されています。また、GoToキャンペーンも一時中断され飲食業・観光業など多くの業種の方々が厳しい状況に置かれています。全国では、2回目の緊急事態宣言が発出され、さらに延長された都道府県もあります。石川県はそれには当たりませんが、感染者数がなかなかゼロにはなりません。活動自粛などでストレスが溜まる日々をお過ごしの方も多くいらっしゃると思います。先が見えない状況で暗い話題ばかりですが、一方ではワクチンが開発され接種の予定も計画されていることは明るい話題だと思います。感染が治まっても元の生活に戻ることは出来ないと言われていますが、技術開発やAIの活用などが進み、新しい日常が待っていると思います。まだしばらく新型コロナウイルスとの戦いは続くと思いますが、必ず明るい未来が来ると信じ、感染予防を徹底し、さらに気を引き締めて乗り越えていきましょう。そして、経済が一日も早く回復することを祈っています。

さて、女性部には「桜梅桃梨の会」という素敵な通称がついています。インド仏典にある梵語で、「異質のものが結集して大きな力を発揮する。」という意味をもつそうです。

異業種工業団地の女性部にぴったりではないかと、設立当初の会員一同の思いが込められ名付けられました。活動の内容は、「知識教養を高める為の講習会や研修会の開催・会員相互の親睦並びに情報交換・組合事業への協力・ボランティア活動・飾花事業」などです。設立当初の理念を継続しつつ、今後も女性の学びの場を提供し、親睦を深め、社会に貢献し、地域に役立つ活動を広めていけるように頑張っていきたいと思っています。しかしながら、会員の皆さんは会社の担い手であり、主婦でもあり多忙ですので、無理することなく活動に参加できるようにしていきたいと思っています。新規会員も常時募集していますので、活動に興味のあるかたは是非ご入会下さるようお願い致します。

結びになりますが、組合員の皆様には常日ごろ女性部の活動にご理解とご支援をいただきありがとうございます。これからも、女性ならではの感性を大切に、親組合・青年部の皆様と共に活動していきたいと思っていますので、皆様ご協力のほどよろしくお願い致します。

安原工業団地協同組合会報

YASUHARA INDUSTRIAL PARK
COOPERATIVE SOCIETY
NEWSLETTER
NO. 30

令和3年3月1日発行

2021.3
第30号

発行 安原工業団地協同組合
〒920-0377
金沢市打木町東1400番地
(金沢市異業種研修会館内)
TEL (076) 240-1411
FAX (076) 240-1903



企業経営動向に関するアンケート調査報告

～景気は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあるが、持ち直しの動きが見られる。～

毎年恒例となっています企業経営動向調査のアンケート結果を取りまとめましたのでご報告致します。

調査企業は全組合員176社のうち116社(65.91%)と昨年の52.48%に比べ高い回収率となりました。調査概要は下記のとおりです。

前年度調査と比較して、「売上高減少」、「採算性悪化」、「操業度80%以下」がそれぞれ増加という結果となり、このことから、平成29年度をピークとした下落傾向が、このコロナ禍により一気に強まった状況であることが窺えます。今後の受注見通し「変わらず」は若干下がり、現時点の景況感「悪い」が大きく増えています。

また、コロナ禍で、国・県・市等の経済支援策は「持続化給付金を利用」や、IoT、AIの利活用及びリモートワーク導入について「実施」・「計画」をしているという回答が多く見られました。

組合員皆様にご協力いただいたことに感謝するとともに、貴重なご意見を今後の参考として組合活動を進めていきたいと思っております。

第10回 合同ゴルフ大会



令和2年9月21日(月・祝)、組合・町会合同ゴルフ大会がゴルフクラブツインフィールズ ゴールドコースにて開催されました。

コロナ禍での開催により、表彰式等のパーティ中止や景品等の後日配送など、できる限り感染予防に努めながら大会を開催致しました。

40名の参加を頂き、(株)塚本巧芸 塚本裕二さんが優勝しました。

厳しい状況での大会となりましたが、親睦を深めることができました。

(株)紙本鉄工が金沢かがやきブランド令和2年度 機械 設備 原材料分野で受賞!!

令和2年度金沢市かがやきブランド機械部門で認定をいただき、本装置に協力していただいた方々に心より感謝しております。本製品は電磁波を利用した食用油の劣化抑制装置で油を2倍長持ちさせる装置です。石川県立大学の協力で様々なエビデンス(科学的根拠)を得る事ができました。令和元年にもエントリーしましたが、認定に至らず、きちとした科学的に基づいた数値が見えるようにプレゼンしないと難しい事を痛感しました。油の劣化はどのように進むのか、過酸化物質の数値がどのように進むのか、油煙がでるメカニズムはどのような物質が作用する事によって起こるのかなど、研究には時間がかかりました。

会社の昼食で揚げ物を毎日社員の皆さんに食べてもらい感想を聞きましたが、人の味覚はそれぞれでやはり科学的に基づいた数値によって証明されると思い、大学に協力していただく事にしました。

先生方の意見やテストの仕方など私たちの視界

に入らない見方をして頂けるので目からウロコという感じでした。初めはなかなか数値の変化が得られませんでした。様々なテストを繰り返し時間はかかりましたが物質の変化を確認することができました。

コロナ感染症によって飲食業界は大変厳しい状況になっております。

研究によって得られたエビデンスをもとにコロナ終息後マーケットに参入していければと思っております。

(紙本敬章社長談)

『ミラクルフライ ラインナップ』

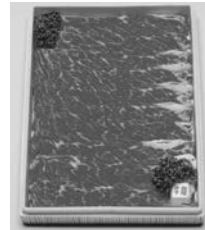


フライ槽中の電極から微弱な電磁波を発生させることで、食用油の劣化を抑制する装置

コロナに負けるな

コロナに負けるなとの思いを込め、組合員の方々が少しでも元気が出るように食品の配布事業を行います。安原の組合員から協力を頂き、厳選された食材を提供します。いくつかある中から一つの商品を選ぶのに苦労された方もおいでるかな。3月中に皆さんのお手元に届きます。美味しく召し上がってください。

今年度は新型コロナウィルス感染拡大の影響により、ほとんどの事業を中止としてきましたが、現在も感染拡大が収まらないことから新年会に続き、ボウリング大会も中止となりました。皆様のご協力をいただき、コロナ禍を乗り越えていきたいと思ひます。



国産牛肩ロース (株)コシノ



ナッツなどの詰め合わせ
エイコウ商事株式会社



加能ガニ (有)小坂商店



乾麺詰合せ (株)ナカノフード



金箔入金平糖 箔一産業株式会社

新工業団地整備事業 順調に

昨年の夏より工事着手した第5次安原異業種工業団地整備事業は順調に進んでいます。



整備面積は全体で約18.0ha、分譲面積は約14.4haで整備されます。

第1期分譲地約6.3haのうち、北側に位置するB地区は約0.9haで、造成工事も年度内には完了します。南側に位置するA地区第1工区は約5.4haで、雪の影響も少なく、毎日槌音高く工事が進んでいます。両地区とも、やがて分譲価格も決定し、分譲開始される計画で、順次新たな工場建設が始まります。

また、A地区第2期分譲予約も新年度には開始される予定です。

造成工事の安全な施工とともに、良好な事業環境の整備を願っています。

「ものづくり実践塾」 (有)羽野樹脂工業 ～スマホ用無電源スピーカー開発～

昨今プラスチックはレジ袋やペットボトルをはじめ、使い捨て素材のイメージがあり、プラスチックを扱う者としての悩みでもありました。安原、打木海岸でのペットボトルや海洋プラゴミの回収活動への参加をきっかけに何か出来る事はないかと考えるようになりました。

そこで2年前に金沢市が主催する「ものづくり実践塾」に入塾し、商品開発について多くを学び、プラスチックの切削加工で培ってきた技術で削り出しの無電源スピーカーを作りました。形状は、あえて複雑にするのではなく、シンプルな球体、立方体とし、無垢材の重量感を感じて頂けるような製品に仕上げました。

また製品づくりを通してプラスチックの切削加工を多くの方に知ってもらい、社内の技術向上にも繋がればと思っております。

(羽野芳康専務談)



「無電源スピーカー」

女性部 活動報告

今年はコロナウイルスのため活動が減少しましたが、その中でも楽しみを見つけるのが上手な女性部です。新入部員は随時募集中です。

令和2年9月25日(金)

【第1回研修会】

金沢市異業種研修会館第1研修室にて、県出前講座で講師に保健環境センター主任研究員の野口邦雅様をお招きし、「県内の温泉の分布とその特徴」の講義を9名で受講しました。

身近でよく知っているつもりの地元石川県の温泉ですが、特徴や成分にそれぞれ特色があることを知り、講義後には温泉に行きたい、計画をたてよう、という話で盛り上がりしました。

11月14日(土)

【花いっぱい！飾花推進活動】

幹線道路のプランターに葉ボタンの植え替えをしました。お忙しい毎日の皆様のお目に留まり、季節を感じていただければ幸いです。

11月26日(休)

【中央会女性部活動(訪問事業)】

山中温泉文化会館にて山中温泉協同組合ぼたん会、山中温泉飲料業協同組合女性部の事例発表・意見交換会が行われました。2名が参加しました。

女性たちのアイデアを、街中の店舗の方々も協力して取り組んでいられるそうで、アイスストリート事業やこおろぎ橋ベンチ計画、街ばる事業やパンフレットや商店街通信、SNSでの発信など、様々な活動をされていることに感銘を受けました。

その後、ラ・モンペッタ・イタリアンにて昼食交流会の後、うるしアートはりや様の工房見学でした。ご家族で取り組む伝統工芸の漆、螺鈿の技術を見学し、現代的にもアレンジされた商品や作品もたくさん見ることが出来ました。

街中散策、芭蕉の館見学の後、九谷セラミックラボラトリー見学をしてきました。絵付け、成型だけでなく、土づくりから見学できる珍しい施設でした。

12月16日(休)

【会員企業にシクラメンを】

毎年恒例となっております、会員各企業にクリスマス気分を味わっていただくシクラメンを配布しました。

今年は活動が少なかったため、いつもより大ぶりの素敵なシクラメンを皆様にお届けしました。

2月26日(金)

【第2回研修会】

当初2月の半ばに予定されていた第2回研修会ですが、新型コロナウイルス感染拡大状況をみながら2月26日に延期して予定しております。

第1回と同じく県出前講座です。テーマは「石川の港とその役割」講師は石川県産業立地課港湾活用推進室 室次長 久保光夫様。金沢港クルーズターミナル会議室にて。

今年度はコロナウイルス感染拡大防止のため、感染予防に気を付けながらの活動でしたが、無理なくできる範囲で出来ることを見つけ、笑顔で楽しむところは変わらないままの女性部活動でした。

まだ先行きは見えませんが、柔軟に変化に対応していきたいと思っています。

来年度もよろしくお願いいたします。



青年部 活動報告

8月

【安原工業団地協同組合青年部20周年事業】

青年部OBと現青年部との交流会を毎年実施している若者交流会との併用事業として行う予定でしたが、コロナ禍による厳しい状況により交流会自体、人との密は避けられずやむなく中止とさせていただきます。

9月6日(日)

【第41回ソフトボール大会】

安原小学校グラウンドにおいて安原工業団地協同組合主催、安原工業団地町会協賛にて第41回ソフトボール大会が行われる予定でしたが、コロナ禍による厳しい状況により中止とさせていただきます。

9月21日(月・祝)

【第10回安原工業団地組合・町会合同ゴルフ大会】

ゴルフクラブ・ツインフィールズにおいてゴルフ大会が開催され、運営のお手伝いをさせていただきました。10組40名が参加し、株式会社塚本巧芸の塚本裕二さんが優勝しました。

10月

【研修視察旅行】

今回は青年部初の東北方面の視察旅行を計画していましたが、コロナ禍の厳しい状況が依然として続いている状況なので、やむなく中止とさせていただきます。

12月

【青年部忘年会】

青年部幹事各位に忘年会をこのコロナ禍の状況下の中で実施しても良いかをアンケートを取り、多数決により忘年会は中止とさせていただきました。

12月2日(火)

【青年部幹事納会】

「居酒屋 あぶり亭」にて青年部幹事8名が参加し幹事納会を開催しました。コロナ禍による店側の対応も良く、しばらく幹事間での情報交換などもできなかった状況だったので、話し合いや親睦なども図ることができました。コロナ禍の状況で活動がほとんど中止となってしまいましたが、無事に1年を締めくくることができました。

2月

【研修会】

異業種研修会館にて毎年実施している研修会ですが、青年部幹事各位にこのコロナ禍の状況下の中で実施しても良いかをアンケートを取り、多数決により研修会は中止とさせていただきます。

2月4日(休)

【石川県中小企業青年中央会地区別研究会】

石川県中小企業青年中央会主催の地区別研究会に青年部から4名参加しました。株式会社チャンピオンカーレー代表取締役社長 南恵太氏を迎えコロナ禍の厳しい経営環境の中、アメリカへの事業進出や様々な企業とのコラボ企画など、情報の発信や新企画の進め方などについて多く学ぶことができました。

これをもって今年度は無事終了となりますが、日頃からの組合皆様のご理解、ご協力のお陰と感謝しております。コロナ禍改善の先が不透明の中、来年度はコロナ対策を徹底し、可能な事業は実施していきたいと考えています。

来年度もよろしくお願いいたします。

あ と が き

コロナ禍で事業の中止が多くあり、大変な時代と感じている。ワクチンが日本でも医療従事者から投与され始めた。一刻も早くコロナ禍が収まる事を期待したい。テレワーク等密を防ぐスタイルが当たり前になりつつあるが大切な事は「女性ならではの感性を大切に」と表紙を飾っている言葉を仕事に取り入れ、今までの日常から新日常に変化させより良い社会になる事を祈っている。(T)

発行責任者 米澤 卓也
編集委員 岩上 伸人、金谷 尚次、笠井恵美子、田中 泰
東山 敦子、三島 克也、横田 義尾、安村 義昭
山口美枝子